

前回（第6回）分科会でいただいた
主なご意見への対応方針について

- 再編後のオレンジゆるバスの評価基準について … P 3
- 主なご意見の整理について … P 5
- 長期検討に関する内容について … P 8
- 短期検討に関する内容について … P 16

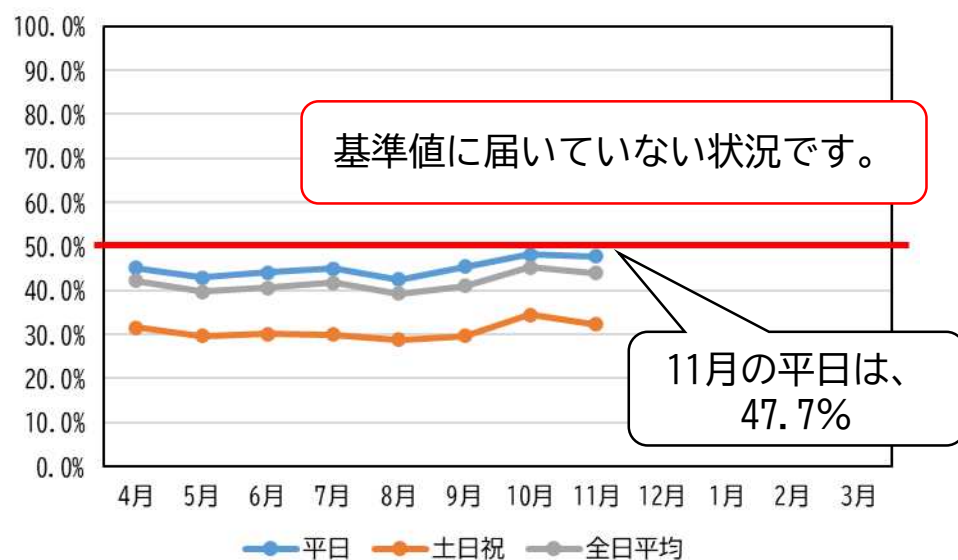
再編後のオレンジゆるバスの評価基準について

再編後のオレンジゆずるバスの評価基準について

評価指標	基準値	達成状況に応じた方策
収支率 (運賃収入/運行経費)	50%	割引運賃の適用範囲の「維持・拡大」 または「縮小」を検討
バス1便あたりの 利用者数	【青・赤・黄ルート】 48人/便 【緑ルート】 20人/便	運行時間帯の「維持・拡大」 または「縮小」を検討
バス停1日あたりの 利用者数	8人/バス停・日	ルートやバス停の「維持・新設」 または「廃止・統合」を検討

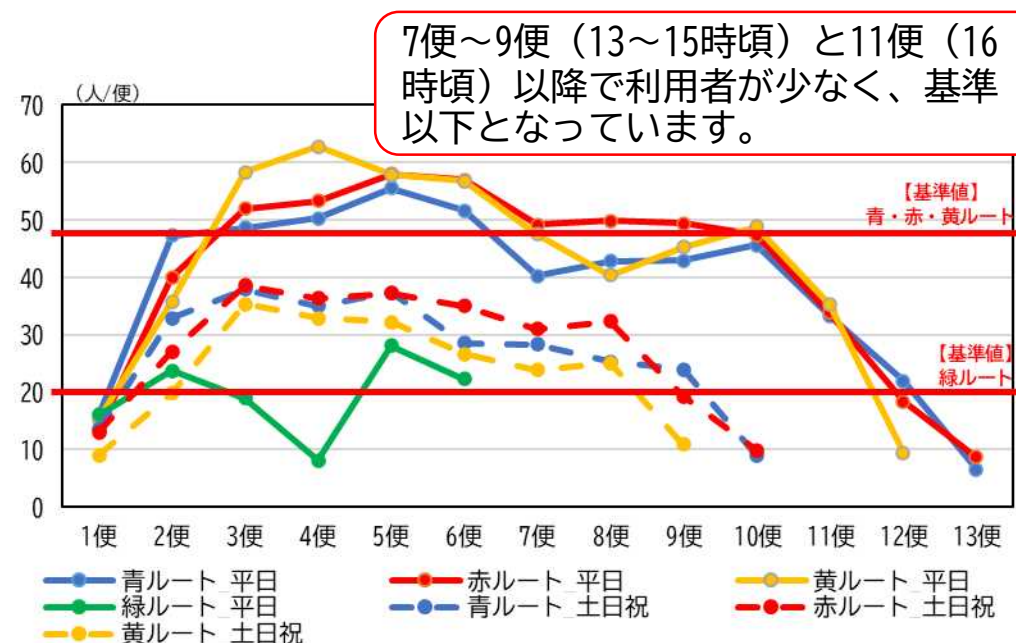
収支率： [平日] 45.1%
[土日・祝日] 30.8%

※11月末時点の実績



オレンジゆずるバス1便当たりの利用者数

※11月末時点の実績



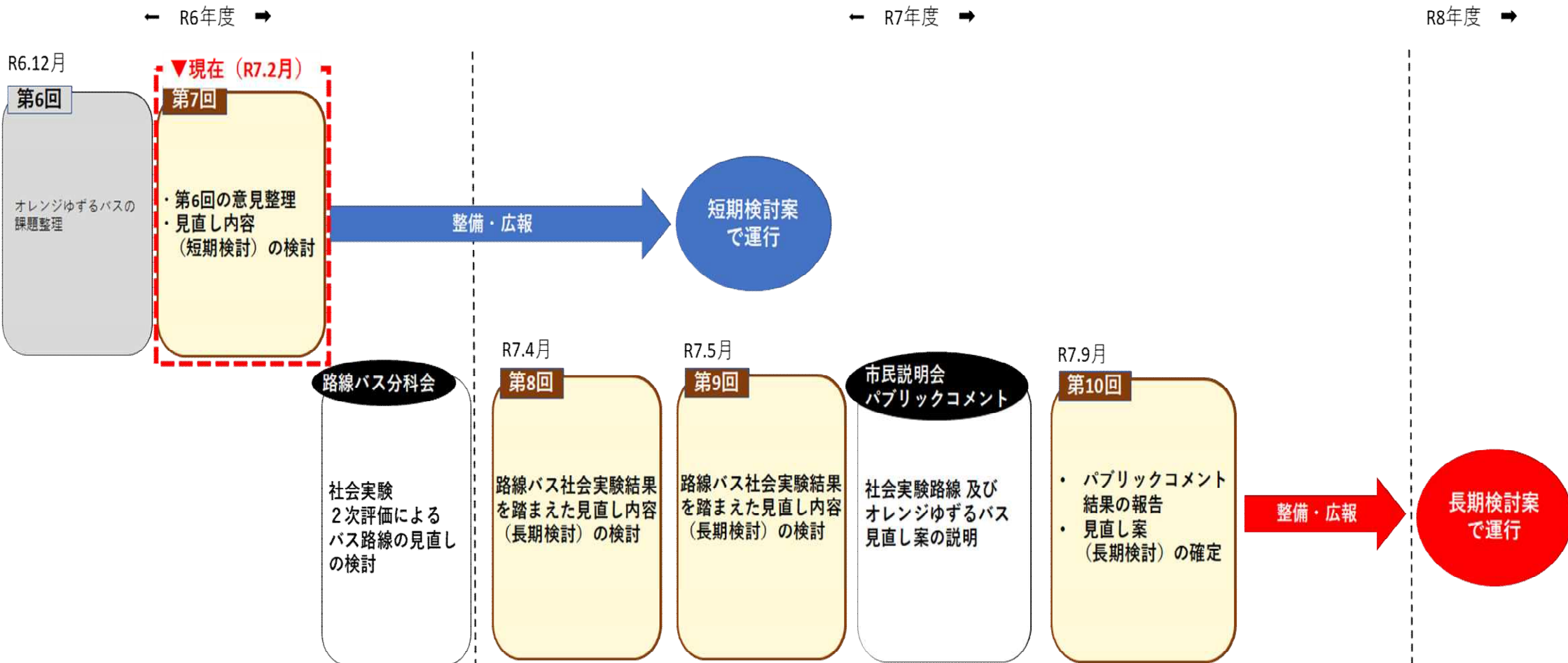
第6回オレンジゆるバス再編検討分科会での
主なご意見の整理について

主なご意見の整理について

前回（第6回）分科会でいただいた主なご意見について、検討内容等を考慮し、下記の整理で「長期検討」と「短期検討」に分類のうえ、対応方針を整理いたしました。

分類	整理内容	例
長期 検討	<p>見直し・対応による<u>影響が大きく、市民説明会やパブリックコメントを実施し、市民意見を伺ったうえ、決定するもの</u></p> <p>① <u>路線バス社会実験</u>の結果も踏まえ、<u>市内公共交通全体での検討が必要</u>があるもの</p> <p>② これまでのオレンジゆずるバスの<u>運用・コンセプトを大きく変える</u>必要があるもの</p>	<ul style="list-style-type: none">• ルート（追加・変更）• 運賃• 便数
短期 検討	上記に該当せず、速やかに実施できるもの	<ul style="list-style-type: none">• 利用促進• 現在の運行にかかる軽微な見直し（部分的）

検討スケジュール（予定）



長期検討に関する内容について

長期検討に関する内容

バス停及びルートの見直し（※路線バスへの影響が大きい）

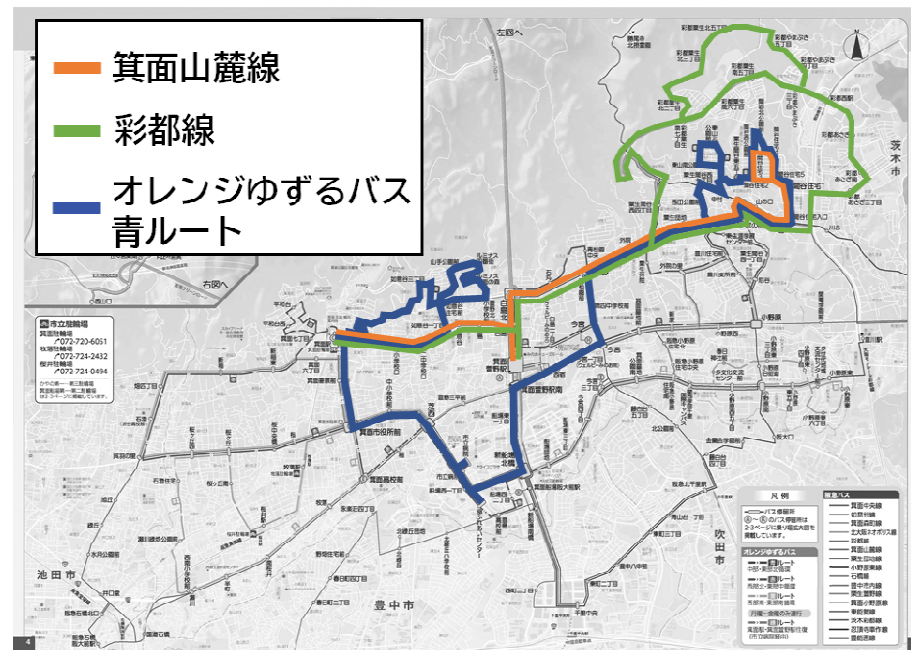
分科会での主なご意見	<ul style="list-style-type: none">・箕面萱野駅に乗り入れできないか。・箕面萱野駅で下車できない。高齢者には大変。 等
市に寄せられた主なご意見	<ul style="list-style-type: none">・青ルートをも箕面萱野駅に乗り入れて欲しい。

方針

北大阪急行線延伸開業に伴うバス路線の再編に向けた協議において、青ルートをも箕面萱野駅に乗り入れさせた場合、阪急バス「彩都線」「箕面山麓線」などと運行ルートの大部分が重複し、阪急バスの利用者数が減少し、路線を維持できなくなる可能性があることから、乗り入れないこととしました。

➡ 路線バスの社会実験結果も踏まえ、市内公共交通全体で検討する必要があります。

(参考) 阪急バス路線と青ルートの運行経路について



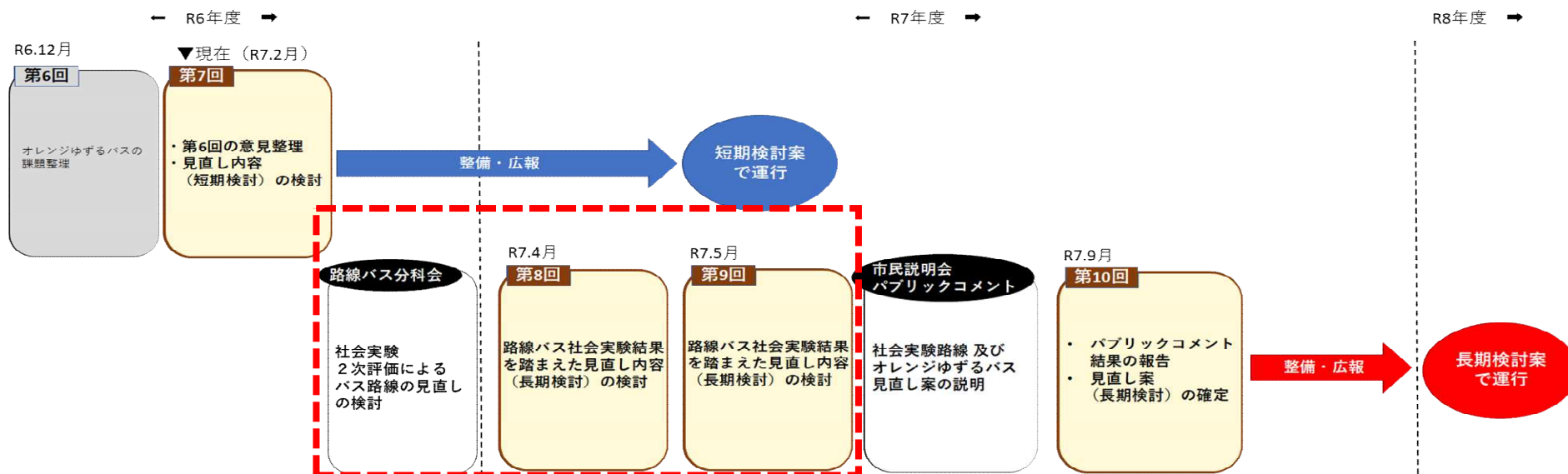
長期検討に関する内容

● ルートの見直し等（抜本的なルート・運行計画の見直しに伴う場合）

分科会での主なご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 止々呂美・彩都方面へのルート新設。 ・ 粟生・小野原地域へのルート復活。 ・ 観光向けルートの新設。 	等
市に寄せられた主なご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 止々呂美・彩都方面へのルート新設。 ・ 粟生・小野原地域へのルート復活。 ・ 小野原から箕面萱野駅へのアクセス向上。 	

● 方針

ルートの見直し等については、路線バスの社会実験の結果による見直し内容（オレンジゆずるバスでの代替可能性等）を受け、路線バスを補完する役割も踏まえ、今後、令和8年度の本格運行に向けた見直し案の検討の中で、ご意見を整理させていただきます。また、運転士確保の課題等から単純なルートの新設・延長は難しく、新設・延長のためには、基本的には、他ルートの廃止・短縮とのトレードオフの関係となります。



市立病院の受付時間を基準としたダイヤ

分科会での主なご意見	・1時間に3台通るが時間が前半に偏っている。	等
市に寄せられた主なご意見	・稲ふれあいセンターの発着時間を均等に配分して欲しい。 1本逃したら1時間近く待たないといけない。	

方針

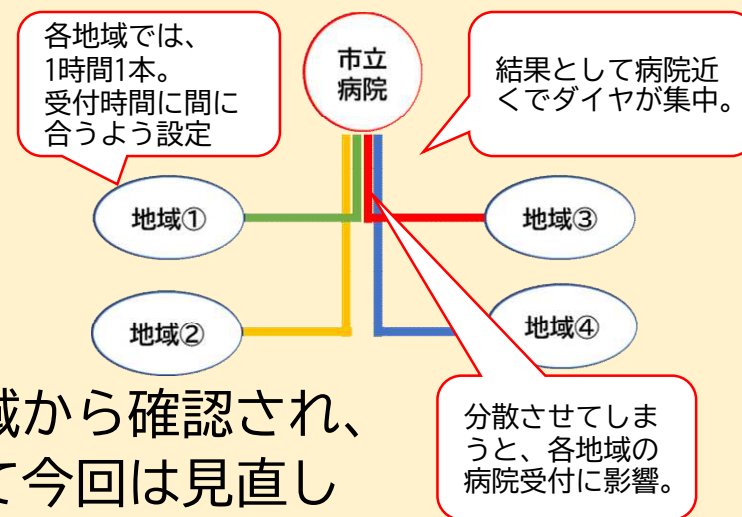
令和4年度オレンジゆずるバス再編検討分科会において

・ **各地域から市立病院の受付時間に到着できるように配慮**

(受付時間は8:30~11:00で、30分毎に予約枠が設定されており、8:30頃に患者が集中)
(市立病院への到着時間を分散させると、8:30の受付開始に間に合わない地域が発生)

・ **乗り継ぎの際の待ち時間に配慮**

以上、2点を踏まえ検討した結果、市立病院に毎時30分までに各地域からアクセスができるようダイヤを集中させました。



➡ 市立病院の受付開始時間に向けた利用も各地域から確認され、利用の定着も見られることから、分科会として今回は見直しを行わない方向と考えています。

運行時間帯の拡大

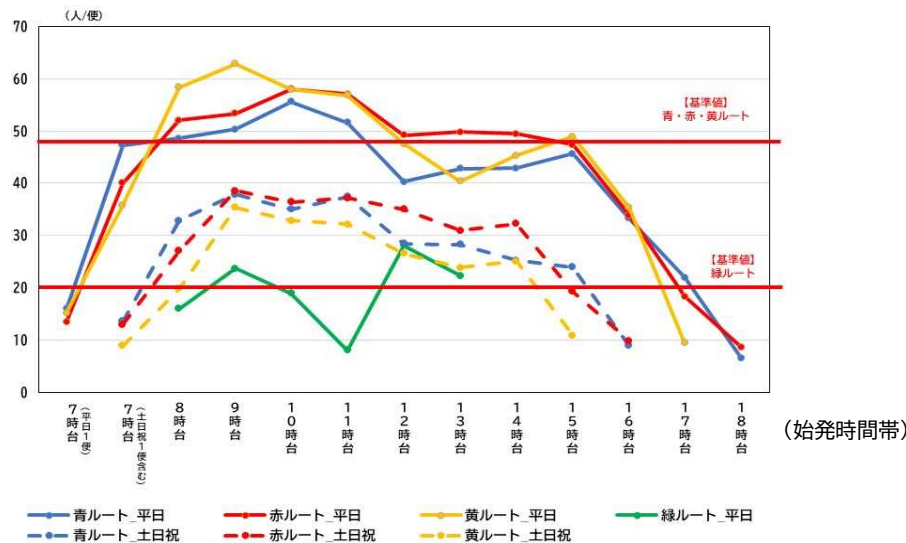
分科会での主なご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・通学・通勤では始発が遅い。 ・18時以降も運行してほしい。 ・終了時間が早い。 <p style="text-align: right;">等</p>
市に寄せられた主なご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学での利用ができない、朝・夕の運行時間帯を拡大して欲しい。

方針

第4回分科会での意見交換の結果、運行時間帯を変更する場合、市役所や図書館などが利用できる時間をカバーできなくなる可能性があることから、運行時間帯を変更する必要は無いとの結論となりました。

また、最新の利用状況からも11便（16時台）以降の利用者が減少する傾向にあります。

令和6年4月からバス運転士に関する労働時間の規制が強化されたことで、運行時間帯の拡大（≡運転士の労働時間の増加）は難しく、朝の時間帯を拡大した場合は、夕方の時間帯の短縮が必要となるなど、トレードオフの関係となります。



再編前後ともに
朝・夕方以降の時間帯で
利用が減少

便数の増発（抜本的なルートや運行計画の見直しが必要）

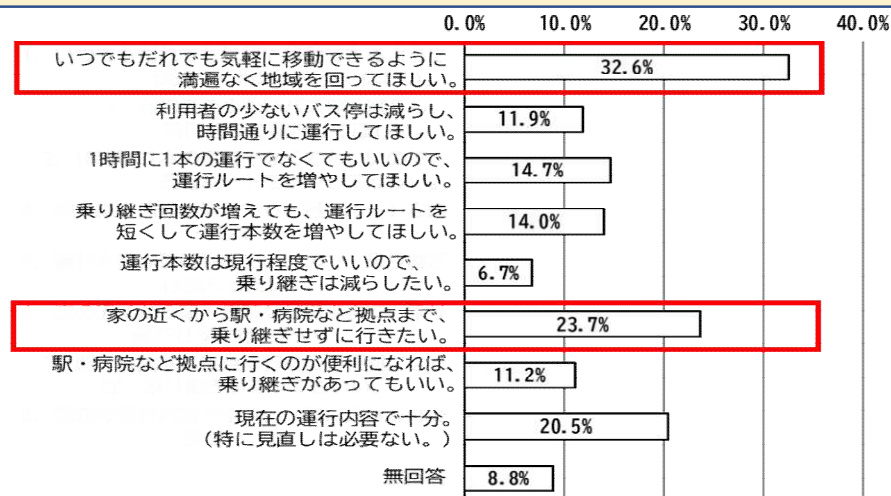
分科会での主なご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間当たり2本は欲しい。 ・1時間に1本は利用が不便。 	等
市に寄せられた主なご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・30分間隔で運行して欲しい。 	

方針

R4年度オレンジゆずるバス再編検討分科会において、路線バスとの役割分担や高齢の利用者が多いことを考慮し、循環型ルート（乗り継ぎなしで主要地点へアクセス）を採用しました。また、R6年度利用者アンケートから、オレンジゆずるバスに求める方向性が現在の運行内容と一致している回答が多く得られました。

30分間隔での運行とするには、乗り継ぎを前提としたバス路線に変更するなど、ルート距離を大幅に短縮しなければならず、オレンジゆずるバスのコンセプトを見直す必要がございます。

運転士確保の課題や市民意見・利用定着も見られることから、分科会として今回見直しを行わない方向と考えています。



「満遍なく地域を回ってほしい」
「拠点まで乗り継ぎせずに行きたい」
「現在の運行内容で十分」

の順で回答が多く、
現行の方向性と概ね一致している

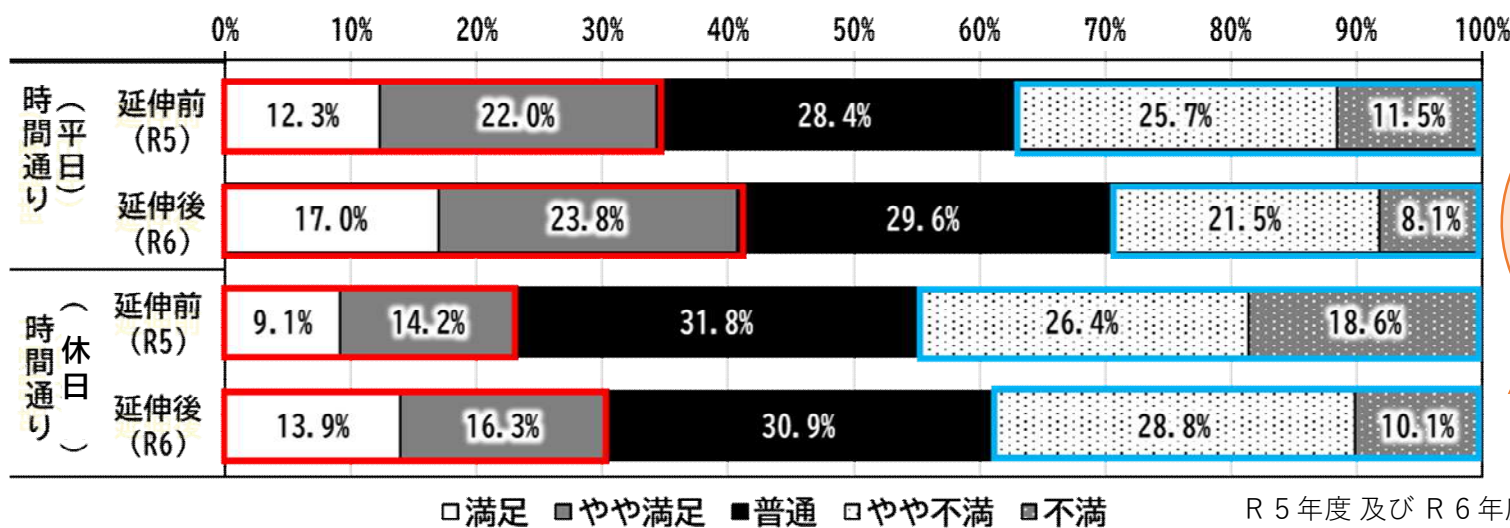
赤ルートの方方向運行の希望（東部一方向運行の見直し）

分科会での主なご意見	<ul style="list-style-type: none"> 一方向運行は、帰りが遠回りになってしまう。 両方向ルートを設定するなど工夫できないか。 	等
市に寄せられた主なご意見	<ul style="list-style-type: none"> 粟生地域が一方向運行となったことへの意見。 	

方針

- 安全運行や恒常的な遅延解消を目的とした定時性の確保を図りつつ、既存バス停の運行を維持するため令和4年度オレンジゆずるバス再編検討分科会にて一部地域を一方向運行といたしました。
- 令和6年度の利用者アンケート調査にて、一方向運行による効果を確認いたしました。
- 現在の運用のまま双方方向の運行をした場合、運行本数が倍増となる場合も考えられます。

➡ 両方向ルートを設定すると、再編前と同様の問題が発生するため、
 現行の台数、運転士を前提とした対応は難しいと考えています。



再編前後の利用者アンケートを比較すると再編により
定時性の満足度が増加、不満度が減少
 →見直しによる効果が確認された

運賃の見直し

分科会での主なご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者割引運賃の値上げ。 ・ 250円の利用料金を見直さないと一般の利用者は増えない。 	等
市に寄せられた主なご意見	なし	

方針

オレンジゆずるバスの収支率は、基準値（50%）を満たしていない状況にあります。運賃の見直しに関しては、第4回分科会の意見交換にて、現在の運賃体系を維持し、**利用促進により収支率向上を目指す**との結論に至りました。なお、小児・高齢者・障害者運賃については、再編後の利用状況に応じて改めて検討するとしています。

運賃設定・割引制度そのものの検討となるため、**箕面市地域公共交通活性化協議会とあわせての長期的な検討が必要となります。**

Point

- 見直す場合：運賃・割引額をどの程度にするのか。
対象範囲（現金、回数券、定期）を限定するのか。
- 見直しを行わない場合：見直しを行わない理由について。

バス路線や便数を減らしてでも、
運賃を安くしてほしい。
0.9%

無回答
12.1%

さらに運賃を高くしてでも、
運行路線や便数を増やしてほしい。
44.2%

運賃を高くする必要があるなら、
今のままの運行路線や便数でよい。
42.8%

R6年度オレンジゆずるバス利用者アンケート

短期検討に関する内容について

バス停の見直し（※路線バスへの影響が小さい）

分科会での主なご意見	・ 停留所が多い、目的地まで時間がかかりすぎる。 等
市に寄せられた主なご意見	・ 再編により廃止となった畑四丁目バス停を復活させてほしい。

● 方針

この後のワークショップにて意見交換いただきます。

（運行に関する）情報発信の改善

分科会での主なご意見	・ 行き先がわかりづらい。 ・ 接近情報がずれている場合がある。 ・ アプリなどの情報をわかりやすくしてほしい。 等
市に寄せられた主なご意見	なし

● 方針

接近情報、アプリやサイネージの表示などについてはオレンジゆずるバス単独のシステムでないため、事務局と関係者にて改善に向けて検討していきます。

バスの行き先表示については、この後のワークショップにて意見交換いただきます。

イベント等との連携による利用促進・情報発信

分科会での主なご意見	・ 便利さに気づいてもらうことを目的に、お祭り（飲酒）との連携やイベント割引。 ・ 企業とのコラボ。 ・ 利用券の配布。等
市に寄せられた主なご意見	なし

方針

オレンジゆずるバス利用促進として、箕面まつりへの参加、記念品の配布やオレンジゆずるバスサポーター店等を実施しております。より認知度の向上・利用しやすい内容・制度となるよう検討いたします。

渋滞対策

分科会での主なご意見	・ 箕面駅や箕面警察署前周辺での車の渋滞緩和。等
市に寄せられた主なご意見	なし

方針

道路管理者へ情報提供を行い、改善を要望します。

バス待ち環境の整備

分科会での主なご意見	<ul style="list-style-type: none">・ 停留所のベンチ設置は高齢者の利用客に好評。引き続き上屋の設置を要望する声が多い。・ 待ち合いテントの設置。	等
市に寄せられた主なご意見	<ul style="list-style-type: none">・ バス停にベンチを設置して欲しい。・ バス停に上屋を設置して欲しい。	

● 方針

道路幅員などの条件により、ベンチの設置が可能な箇所については令和6年度末までに設置が完了する予定です。

上屋について、バスの利用状況や地先地権者への影響なども踏まえて設置を検討します。